



まるごと 林真理子展

2020年
9月11日(金)~11月23日(月・祝)



そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature



林真理子



林真理子 は、コピーライターとして活躍した後、1986年に「最終便に間に合えば」「京都まで」で直木賞を受賞します。以後、多彩なテーマの小説を巧みな語り口で描き、旺盛な執筆力により第一線で活躍し続け、エッセイの連載や文化活動をととして、幅広い年齢層から支持を得ています。

林真理子の作品と業績をたどりその魅力をとらえる、故郷山梨での初の展覧会です。



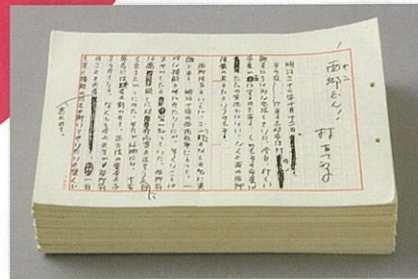
▲幼少の頃 弟と 山梨市の実家は、林書房という本屋を営んでいた。



◀林真理子 エッセイ集
「ルンルンを買ってあうちに帰ろう」
1982年11月 主婦の友社
初めて刊行した単行本が
ベストセラーとなった。



▲瀬戸内寂聴「つづらなるまり子のひとみ 阿波の春」類装 個人蔵



▲林真理子「西郷どん!」原稿 個人蔵
「本の旅人」(2016年2月号～2017年9月号)に連載後、単行本化され、2018年NHK大河ドラマの原作となった。



▶「週刊文春」連載のエッセイ
「夜ふけのなわとび」が1615回を突破し、2019年8月29日世界記録となった。
文藝春秋にて。写真提供 文藝春秋

【関連イベント】 ※いずれも参加無料

林真理子オープニングトーク 「まるごと林真理子展」によせて

聞き手 三枝昂之(当館館長)

9月11日(金) 13:30～14:30

会場:講堂 定員:240名 座席指定

申込方法:往復はがき 締切:8月30日(日)必着

対談 林真理子×辻村深月 物語をつむぐ時間

9月27日(日) 13:30～15:00

会場:講堂 定員:240名 座席指定

申込方法:往復はがき 締切:9月6日(日)必着

林真理子 講演会 本棚のある風景 一林書房と私

11月1日(日) 13:30～15:00 会場:講堂 定員:240名 座席指定

申込方法:往復はがき 締切:10月11日(日)必着

※往復はがきでのお申し込みは、イベント1つにつき1枚で2人までご応募いただけます。
往復はがき面に①イベント名、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥参加希望の人数、⑦代表者以外の参加者名
返信欄表面に①郵便番号、②住所、③氏名をご記入のうえ当館までお申し込みください。
応募者が定員を超えた場合は抽選となります。抽選結果は、はがきで応募者全員に開催日の1週間前頃までにお知らせします。

特別協力:林真理子企画事務所
後援:テレビ山梨 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 産経新聞甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス エフエム甲府 エフエム富士 協力:山梨交通

年間文学講座2 林真理子「女文士」—評伝文学の魅力

10月17日(土) 14:00～15:30 講師:大木志門(東海大学文学部教授)
会場:講堂 定員:50名 申込方法:10月3日(土)から電話で受付ます。

年間文学講座3 林真理子作品の女性たち

9月22日(火・祝) 14:00～15:10 講師:中野和子(当館学芸員)
会場:講堂 定員:50名 申込方法:9月8日(火)から電話で受付ます。
※先着順で定員になり次第締切となります。

つまみ細工ワークショップ

会期:10月18日(日) 14:00～ 講師:清水信子(「布あそび教室」主宰)
会場:研修室 定員:20名 申込方法:電話
※先着順で定員になり次第締切となります。

閲覧室資料紹介 林真理子を読む

会期:9月11日(金)～11月23日(月・祝)
会場:閲覧室 入場無料
小説、随筆など林真理子作品が掲載された資料を手にとってご覧いただけます。

■11月3日(火・祝)の開館記念日に、本展ご観覧の先着200名様に記念品をプレゼントします。

利用のご案内

開館時間 展示室 9:00～17:00(入室は16:30まで)
閲覧室 9:00～16:00

休館日

月曜日(9月21日、11月2日・23日は開館)、9月23日(水)、11月4日(水)

観覧料

	企画展	
	個人	団体 (20名以上)※
一般	600円	480円
大学生	400円	320円

※20名以上の団体料金・県内宿泊者割引料金です。
・高校生以下の児童・生徒・県内在住の65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料です。
・11月20日(金)県民の日は無料。

前売券/一般480円 大学生320円
8月20日(木)～9月10日(木)に、当館受付で販売します。

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、展覧会、関連イベントが変更・中止となる場合があります。当館ホームページで最新情報をご確認ください。

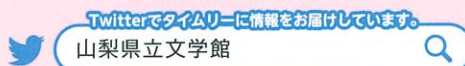
交通のご案内

JR中央本線甲府駅より

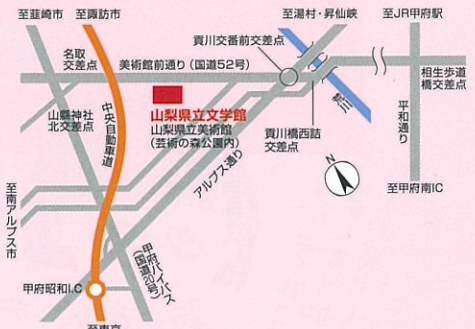
●甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勤使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・貫川団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。
※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。
●タクシーで約15分。

中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

●料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。



〒400-0065 山梨県甲府市貫川1-5-35 TEL:055-235-8080 FAX:055-226-9032



そのことばのつづきへ
山梨県立文学館
Yamanashi Prefectural Museum of Literature

